

公 告 第 号
年 月 日

契約担当官等

公 告

下記により入札を実施するので、入札及び契約心得（地方調達）（ 年 月 日）
を熟知の上、参加されたい。

1 入札方式 一般競争入札（総合評価落札方式）

2 入札に付する事項

件 名	規 格	数 量	納 地	納 期	摘 要
□□□□□□					

3 入札等

① 入札説明書の交付場所

② 入札説明会の日時及び予定場所

平成 年 月 日 () 時 分～

※予定場所については、参加者数により変更する場合がある。

③ 入札書・提案書の提出期限及び場所

平成 年 月 日 () 時 分

④ 開札の日時及び場所

平成 年 月 日 () 時 分

4 参加資格

① 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

② 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。

③ 防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）「○○○○○」の「○」、「○」、「○」又は、「○」等級に格付けされ○○○○地域の競争参加資格を有する者。

④ 大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備府長官又は防衛装備府長官官房会計官から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

⑤ 前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。

⑥ 入札説明書の交付を受けた者であること。

⑦ 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者でないこと。

5 入札方法

入札金額は、□□□□□□に関する総価で行う。

なお、本件については入札の際に提案書を提出し、審査を受けなければならぬ。落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の※1パーセントに相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、各入札者は、

消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の※2に相当する金額を入札書に記載すること。

また、当該入札書は、必ず封書に入れ、封緘のうえ公告番号、入札者の氏名等を表記すること。

6 保 証 金

- ① 入札保証金
 - ② 契約保証金

7 入札の無効

4の参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に反した入札又は入札後契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者のした入札は無効とする。

8 契約書作成の必要の有無

9 契約をしようとする基本契約条項等

10 落札者が正当な理由なく契約を結ばない場合には、落札金額の100分の5以上の金額を違約金として徴収する。

11 そ の 他

予算決算及び会計

の範囲内で、支出負担行為担当官が入札説明書で指定する要求事項のうち、必須とした項目の最低限の要求を全て満たしている提案をした入札者の中から、支出負担行為担当官が定める総合評価の方法をもって落札者を定めるものとする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれ

があって著しく不適当であると認められるときは、予定価格の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、評価の最も高い者を落札者とすることがある。

⑦ 入札結果の公表

総合評価落札方式で行った一般競争については、落札者と入札者のそれぞれの商号又は名称、入札価格、技術点の合計及び総合評価得点を、契約締結後速やかに防衛装備庁ホームページで公表するものとする。

⑧ 詳細は入札説明書による。

⑨ 本書記載事項については○○○○○○○○○○○○に照会のこと。

住 所
T E L — (内線)

備考 不要の字句を抹消すること。

注：※1印には適切な消費税及び地方消費税の税率を合わせた率を百分比で表した数値を記入すること。

※ 2印には $\frac{1\ 0\ 0}{1\ 0\ 0 + (\text{※1の数値})}$ と記入すること

※3印には $\frac{1\ 0\ 0 + (\text{※1の数値})}{1\ 0\ 0}$ と記入すること